

第 59 回兵庫県献血推進協議会（議事要旨）

- 1 開催日時 令和5年3月7日（火）午後2時～3時40分
- 2 開催場所 兵庫県薬剤師会館4階会議室
- 3 出席委員
- | | | | |
|------|-------|------|-------|
| 副会長 | 八田 昌樹 | 委員 | 権藤 君子 |
| 委員 | 北野 貞 | 委員 | 錦織千佳子 |
| 委員 | 後藤 武 | 委員 | 伴 智代 |
| 委員 | 藤盛 好啓 | 委員 | 佐藤 杏香 |
| 委員 | 西海恵都子 | 委員 | 角田昌二郎 |
| 委員代理 | 南本 伸一 | 委員代理 | 北井 保美 |

4 事務局等出席者

- (1) 県（事務局）
岡田保健医療部次長 織邊薬務課長 他（計7名）
- (2) その他
兵庫県赤十字血液センター（2名） 保健所設置市（3名）

5 報告事項

- (1) 献血者数等の状況について
(2) 年代別献血状況について
(3) 献血普及啓発事業等の実施状況について

【委員からの意見等】

ア 献血受付者の内、約10%の約23,000人が献血をできなかったとのことですが、
どういったことが原因でできなかったのか。

（事務局回答）

一番多いのは血色素が基準に満たなかったこと。その他は一部の医薬品を服薬中であることや、一定の期間に特定の海外の地域に滞在していた場合に献血ができないことになっている。

イ 多血症の方で過去は献血が可能であったが、去年は献血することを断られたと聞いている。多血症に関しての基準があれば教えて欲しい。

（委員回答）

以前は健診医の裁量が大きかったが、現在は献血可能な赤血球数の基準を設定しており、この基準を超えるものについては全て献血をお断りするようになっている。

(4) 血液製剤の適正使用等の推進状況について
委員からの質問等はなし。

(5) 造血幹細胞移植の普及啓発の推進等について
委員からの質問等はなし。

(6) 明石運転免許試験場献血ルームの閉所について

【委員からの意見等】

現在の明石のルームの閉所は仕方が無いと思う。しかし、明石については人口が増加しており、しかも若い人たちが多し。また神戸市西区は神戸市が力を入れて人口増を目指している地域である。そのため、この地域に住んでおられる方をターゲットにする献血ルームを新たに設置できないか。

(兵庫県赤十字血液センター回答)

委員からの意見があったことを本社等にお伝えさせていただく。

6 協議事項

(1) 令和5年度兵庫県献血等推進計画(案)について

【委員からの意見】

ア 推進事業の内容はよく分かったが、実施した後の評価などはどうなっているのか。

(事務局回答)

評価指標等については、現在持ち合わせがない。

イ 献血に来られた方に対して、どういった理由で献血に来られたかなどのアンケート調査を実施できないか。

(委員回答)

現状は、献血に来られている方を待たせずに採血を行うことに現場は追われている。しかし、アンケートを行い、その分析を行うことは、今後、若い方に献血を普及するためには有意義と考える。今後、検討したい。

ウ ラブラッドの登録を働きかけるのは、血液センターの職員だけでは不可能ではないか。ボランティアで誰かに手伝ってもらうことはどうか。例えば兵庫県学生献血推進協議会にお願いすることはどうか。

(委員回答)

毎年1回、全国学生クリスマス献血キャンペーンで、献血に来られた方に学生が主体でアンケートを実施している。統計処理等はできていないが、体感ではラブラ

ットの通知を見て、献血に来られた方が多かったように記憶している。

【協議結果】

事業実施に帯する献血者や若年層へのアンケート等を実施し、その結果の解析等を行い、次年度以降の普及啓発事業に繋げる等の文言を追加することとなった。

また、その文言については、議長預かりとなった。

(2) 令和5年度以降の兵庫県献血推進協議会の開催時期について

【協議結果】

次のとおり決定した。

ア 開催時期については、県の予算要求前に開催することとする。その際、兵庫県献血等推進計画の普及啓発事業のみ協議することとする。

イ 献血の具体的な目標量等が国から示された際には、対面の会議は開催せずに委員に書面で配付して、承認を得ることとする。